

山口市議会報告

Yamaguchi City Council Report

vol.15

地域政党
やまぐちの風

発行責任者
山口市議会議員

竹中一郎

跡地活用の検討は進んでいるのか？

令和5年に移転する、山口県農業試験場の跡地利用について

県と市との「農業試験場等跡地利用検討協議会」は平成31年1月に第1回が開催されて以降、開催されていません。今後、県との協議は、どのように進めるのでしょうか。

地元大内地域からは、浸水対策や渋滞対策と並んで、「地域住民の憩いの場、交流機能として活用していくこと」が要望されています。憩いの場、交流機能について必要と考えているのは、子どもたちがしっかりと遊ぶことができる公園ではないでしょうか。大内地域は人口が多く、子どもたちも幼児から中学生までたくさんいます。そうした子どもたちがしっかりと遊べるような空間をつくるのが、これからの大内地域にとって重要であると考えています。



Achiro's Eye
気づいたこと感じたこと

公園のほか、民間活力を活用してカフェやレストラン等もあればいいと思っています。そこでは、農業収穫体験や収穫したものを調理して食べたりすることを通じて、子どもたちだけでなく、家族で山口市の主要な産業である農業に親しむことが大切ではないでしょうか。

Topics 今伝えたい話題

まちを 楽しむ場に！



中心商店街を子どもたちの活動フィールドへ

『まちを、楽しむ。』～日常を豊かにするまちづくり～を目指し、子育て世代の親子が訪れ、買い物だけでなく街そのものを楽しむことのできるソフト事業が必要です。商店街の空き店舗を利用したスペースや、一の坂川交通交流広場などを活用し、「Out of KidZania in やまぐち 2021」などの職場体験イベントや、山口情報芸術センター[YCAM]の教育普及コンテンツなどを活



用し、「子どもが遊び、学ぶことのできる場を創造すること」が、商店街の魅力向上や子どもたちのシビックプライドの醸成に繋がり、山口都市核の活性化の核になるものと考えます。

地域の魅力を発信する場にも

中心商店街は旧街道に面し、古くから人や物が交流しながら魅力を発信してきました。七夕ちょうちんまつりをはじめ、季節ごとのイベントなどは山口の風物詩となっています。そうした中、中心商店街のにぎわい創出の新たな取り組みとして、山口井筒屋2階に地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」が11月25日にオープンしました。ゆったりとした人工芝には絵本や遊具なども設置され、子育て世代の親子や高齢者など幅広い年齢層の方が休憩用のベンチでくつろぐことのできるスペースです。買い物だけでなく、街そのものを楽しむ空間である「コトサイト」を活用した今後のソフト事業の展開に期待しています。



地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」
(山口井筒屋2階)

質問と答弁

Q u e s t i o n & A n s w e r

1 山口市新本庁舎について

▶質問

基本理念「白い鐘塔に佇む、ひと・まち・未来にやさしい市民の丘」について伺う。

▶答弁

デジタル技術の活用やユニバーサルデザインの採用等による「ひとにやさしい市役所」、多様なにぎわいの創出や回遊性の強化を促す「まちにやさしい市役所」、100年先まで長く使えることのできる「未来にやさしい市役所」を目指す。



▶質問

概算事業費について、基本計画から約41億円増えているが、その理由と妥当性について伺う。

▶答弁

概算事業費の増額は消防本部の集約等に伴う床面積の増加や建設物価の上昇などによる。なお、本庁舎棟と市民交流棟の建設費の1㎡あたりの単価は約53万6千円であり、近隣他市と比較しても同等の単価であることから、概算事業費としては妥当と考えているが、引き続き、実施設計において縮減に努めていきたい。

▶議会での主張

約41億円の建設費増額については、その妥当性を市民に説明し、理解を得ることが必要である。

2 山口市産業交流拠点施設 KDDI維新ホールの活用と まちづくりについて

▶質問

新たな交流やにぎわいを創出するために市民と行政の連携が必要である。今後、KDDI維新ホールを活用しながらどのような地域づくりを目指していくのか伺う。



▶答弁

新山口駅南北自由通路や北口駅前広場に加え、KDDI維新ホールを活用して、えきの笑顔まつりや新山口イルミネーションなど、様々なイベントを継続して実施することにより、新山口駅周辺を交流の核としてにぎわいを創出し、交流人口の拡大や若者の定住促進、地域経済の発展、小郡地域のシビックプライドの醸成につなげていきたい。

▶議会での主張

イベントの実行委員会にKDDI維新ホールの山口市産業交流スペースメグリバ利用者やアカデミーハウス入居者の参加を促進すべきである。

3 農林水産部の新設について

▶質問

農林水産部の設置で何が変わり、どう強化されるのか伺う。

▶答弁

農山村エリアの発展を目的として明確にし、取り組みを効果的に進めるための部局を早期に開設することにより、専門性の向上と機動力が発揮できると考える。



▶質問

現在の経済産業部における商工労働部門も重要と認識するが組織改編でどうなるのか伺う。

▶答弁

新山口駅拠点施設整備推進室の在り方を含め、商工労働分野における最適な組織体制について検討を進める。

▶議会での主張

将来にわたって持続可能な農山村エリアの発展のため、効率的・効果的な事業展開が可能となる組織体制の強化を進めるべきである。

